家庭学習の習慣化を！

子どもの生活習慣改善キャンペーン（第20号）

日々の『家庭学習』が、「学び」を確かなものにします！

～家庭の学習環境づくりが、子どもの学びや育ちの原動力～

家庭学習に励む子どもたちは、生活意欲旺盛で、学校でも自信を持って積極的に学習や活動に取組んでいます。子どもたちに『確かな学力』を身につけるために、園・学校と協力して「机に向かう習慣」・「家庭学習の習慣化」を図りましょう。

中井っ子の家庭学習の様子

子どもたちの家庭学習の実態を把握するために、今年も10月に一斉に調査しました。読書の時間やテレビ及びゲーム等の時間についても調べました。ご協力ありがとうございました。 調査の結果は次のとおりです。

調査期間 【10月24日（月）～10月30日（日） 一週間 】

調査対象 小学生及び中学生全員：（調査人員；小学生　511名、中学生　242名）

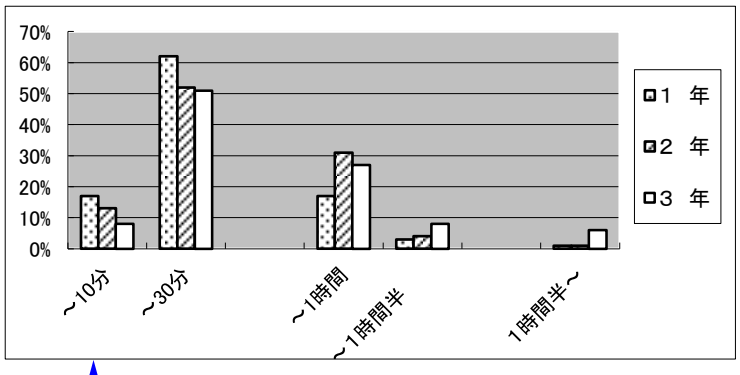
｛※ 家庭学習時間には、学習塾の時間も含まれています。｝

小学生（低学年）

★ 一日平均の家庭学習時間

学年	学習時間	（目安）	読　書	テレビゲーム等
1　年	22分	（10分）	7分	73分
2　年	24分	（20分）	6分	68分
3　年	31分	（30分）	8分	81分

★ 一日の家庭学習時間の分布

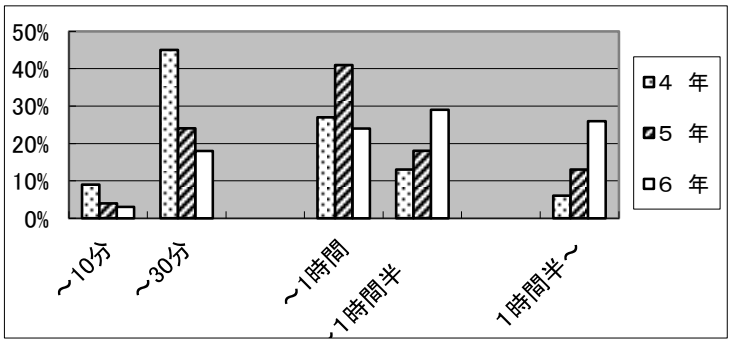


小学生（高学年）

★ 一日平均の家庭学習時間

学年	学習時間	（目安）	読　書	テレビゲーム等
4　年	36分	（40分）	11分	88分
5　年	52分	（50分）	11分	102分
6　年	76分	（60分）	12分	101分

★ 一日の家庭学習時間の分布

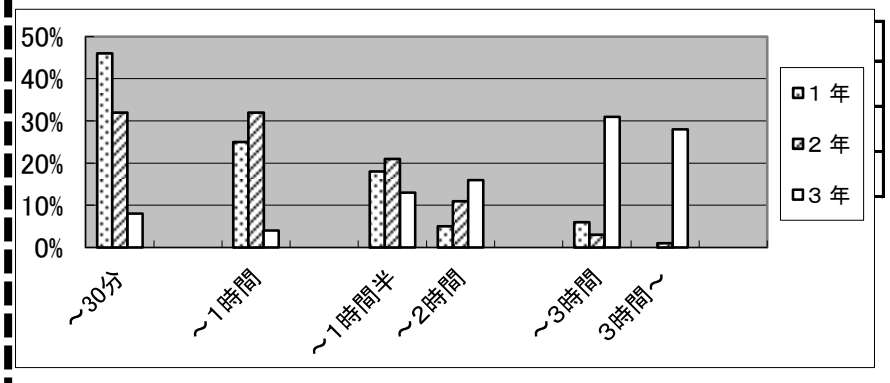


中学生

★ 一日平均の家庭学習時間

学年	学習時間	（目安）	読　書	テレビゲーム等
1　年	44分	（70分）	11分	116分
2　年	50分	（80分）	19分	89分
3　年	134分	（90分）	8分	75分

★ 一日の家庭学習時間の分布



調査結果を参考に見直そう！

☆全体的には、以前と比べて少しずつですが、家庭での学習時間が増えてきています。

☆しかし一方で、例えば4年生で目安時間（40分）に達しない児童が約7割、中学2年生では目安時間（80分）に達しない生徒が約8割に及ぶ実態もあり、家庭学習の習慣化を図る必要性を感じます。

☆テレビ・ゲーム等の時間と家庭学習時間とは密接に関係があり、平均で一日100分を超えると学習時間に与える影響も大きいことが結果に表れています。家庭学習の定着を図る為にも、自分でテレビの視聴内容を精査し、ルールを決めて計画的に時間を使う習慣を身につけることが大切です。

☆『読む子は伸びる』と言われますが、家庭学習の習慣化を図るためには、絵本や本、新聞等に興味を持ち、短時間でも本や新聞を読む習慣を身に付けることも必要です。

☆今回の調査結果を参考にして、各ご家庭でお子様を交えてご相談の上、主体的・計画的に家庭学習に取組むことができるよう皆様のご協力をお願いいたします。

中井町教育委員会・井ノ口幼稚園・中村小学校・井ノ口小学校・中井中学校

（問合せ先）中井町教育委員会教育課　＜電話　81－3906＞

家庭学習の習慣化を図る子どもの学びの自立を育むには、保護者の支援が必要です！

教育の原点は、「家庭」にあると言われます。子どもの学びは家庭に始まり、子どもたちは、家族との温かいふれあいや様々の体験を通じて多くのことを学び、たくましく成長します。

子どもの家庭学習の習慣化を図ることが、子どもたちの学びをより豊かなものにするとともに、自立的な生活態度を育成することにもつながります。

＜基本的な生活習慣＞や＜規則正しい生活リズム＞、＜家庭での学習環境＞、＜読書の習慣化＞が子どもたちの『学び』を支え、確かな学力を育みます。特に、家族の「見守り・温かい励まし」は、子どもに『やる気』と『自信』を持たせ、根気よく取組む大きな推進力となってきます。

子どもの家庭学習を支え、習慣化を図るために、家族で協力して出来ることから取組みましょう。

規則的な生活リズム

○あいさつ・食事・睡眠時間⇒規則正しく
○「早寝・早起き・朝ごはん」の励行
○家庭学習・テレビ・ゲーム等の時間を決めて守らせる

家族の見守り・励まし

○家族間のあいさつ・会話を大事に
○「よかったね」「頑張ったね」…子どものがんばりを認め・励ます
○最後までやり遂げる成功体験を自信に

家庭学習や生活の様子を担任にもご連絡を！

家庭学習の習慣化

基本的な生活習慣や家庭学習の習慣と「学力」とは、深い関係があるんだね。

学ぶ雰囲気づくり

○机や身の回りの整理整頓
○学習時間・計画を自分で立てさせる
○分からないことや疑問点⇒自分で調べさせる。最後まで根気よく取組ませる。

読書の習慣づくり

○「読書タイム」を設け、家族で読書を
○小さい子には、家族が読み聞かせを
○小学校高学年からは新聞を読む習慣も
＜読む力が「学ぶ力」になります。＞

子どもを読書好きにするために

1 読み聞かせ
子どもが読書と出会う第一

2 家族で読書
読書する環境づくり
子は親の後姿に学びます

3 一緒に図書館や本屋に
よい本は心の栄養・生き方の手

4 読ませたい本を紹介
子どもの頃に読んだ本を積極的に紹介
本を通して親子の会話を、本に興味を

今日、テレビやテレビゲーム、インターネットなど多様な情報が溢れ、子どもたちの生活に様々な形で影響を及ぼしています。それだけに、子どもたちの心豊かな成長や学びの自立を支える力としての『読書の効用』があらためて見直されています。

読書の習慣化
－全ての学習の基礎－
・言語力　・知識力　・読解力
・豊かな感性　・広い視野
・思考力　・表現力　・想像力

⇒ **考える力 豊かな心 生きる力** ⇔ **確かな学力 豊かな人間性**

『読む力』が、生涯にわたって『学ぶ力』になります。